

茨城県知事 橋本 昌 様

県に対する要望書

茨城県市議会議長会

茨城県市議会議長会は、平成27年10月27日の定例会において、「県に対する要望書」を別紙のとおり採択いたしましたので、趣旨を御理解のうえ、その実現方について特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月6日

茨城県市議会議長会 会長 村田 進洋

県に対する要望書

| 件名 | 提出市 | 頁 |
|---------------------------------|-------|---|
| 日立市内における国・県道の整備促進について | 日立市 | 1 |
| 地域医療体制の充実について | 日立市 | 2 |
| 筑西幹線道路の整備促進について | 古河市 | 3 |
| 国道 125 号整備（下妻・八千代バイパス）の早期実現について | 下妻市 | 4 |
| 常陸太田市内における国・県道の整備促進について | 常陸太田市 | 5 |
| 茨城県畜産試験場跡地の利活用及びアクセス道路の整備について | 笠間市 | 6 |
| 主要地方道結城坂東線バイパスの整備促進について | 坂東市 | 7 |
| 利根かもめ大橋有料道路の通行料金無料化について | 神栖市 | 8 |

重点要望事項

- 1 日立市内における国・県道の整備促進について (P 1)
- 2 筑西幹線道路の整備促進について (P 3)
- 3 利根かもめ大橋有料道路の通行料金無料化について (P 8)

県への要望書

(件名)

日立市内における国・県道の整備促進について

(内容)

本市内の国道6号、国道245号を始めとする幹線道路や主要な交差点においては、朝夕の交通渋滞が著しく、市民の日常生活の安全・安心、さらには地域の産業活動にも大きな影響を及ぼしている。

また、東日本大震災の教訓として、大規模災害時における避難手段や防災機能強化の視点に立った道路整備の重要性及び復旧・復興推進に資するための幹線道路整備の必要性を改めて認識したところである。

現在、地方創生の本格実施を迎えるにあたり、地方版総合戦略の策定に取り組んでいるところであるが、将来にわたりまちの活力を維持するためには、重要な都市基盤である幹線道路の整備が必要であり、幹線道路ネットワークの形成による民間投資の拡大や雇用の促進、地域経済の好循環の醸成など、多くのストック効果が期待される場所である。

よって、茨城県においては、本市における地域創生を推進するための多様な戦略の実現のため、下記事項の整備促進について、特段の御配慮をいただくよう要望する。

記

- 1 一般国道245号茨城港日立港区北拡幅の整備促進
- 2 一般国道245号（大みか町～河原子町）の都市計画決定（4車線）及び事業化
- 3 一般国道245号（留町～久慈川（久慈大橋））の早期事業化
- 4 都市計画道路鮎川停車場線（主要地方道日立常陸太田線）の整備促進
- 5 主要地方道日立笠間線（大久保町～常陸太田市亀作町）の早期事業化
- 6 一般国道293号（大和田町～留町区間）の4車線化の検討及び事業化
- 7 一般国道6号大和田拡幅の整備促進
- 8 一般国道6号日立バイパス（Ⅱ期）の整備促進
- 9 一般国道6号桜川拡幅（桜川町）の早期事業化
- 10 一般国道6号日立バイパス（国分町～河原子町）の早期事業化

以上

提出市：日立市

県への要望書

(件 名)

地域医療体制の充実について

(内 容)

全国的に医師及び看護師の不足・偏在が大きな社会問題となっており、茨城県では人口10万人あたりの医師及び看護師の数は、全国平均を大きく下回っているが、県北地域においては更に低い状況である。

特に、小児科や産婦人科における医師不足は深刻であり、県北地域の中核医療機関である(株)日立製作所日立総合病院においても、平成21年4月から産科診療の休止を余儀なくされる事態となった。

幸いにも茨城県を初めとする関係機関の御支援と御尽力により、平成22年4月から産科診療は再開されたが、県保健医療計画で位置付けられている県北地域の新生児やハイリスク妊産婦に対する専門的な医療を担う地域周産期母子医療センター（中核）の機能は休止状態が続いている。

さらに、日立総合病院においては、医師不足から婦人科診療の休止状態が続いており、水戸地区周辺の周産期母子医療センターや医療機関にしわ寄せが及んでいる。

一方、平成24年10月には県北地区では最初の三次救急医療を担う救命救急センターが日立総合病院に整備され、平成25年9月にはひたち医療センターが県内初の社会医療法人として認定された。両医療機関においては、先の東日本大震災で大きな被害を受けたことから、国、県の支援を受けて病院建物の新築工事を進めており、救急医療を柱とする地域医療体制の整備に向けた取組が進められているところである。

このように県北地域においては医療機関の整備は進みつつあるものの、依然としてマンパワー不足による深刻な状況であり、地域医療体制の確立が図られていないことから、茨城県においては下記事項について、特段の御配慮をいただくよう要望する。

記

- 1 産婦人科や小児科を初めとする医師及び看護師の確保を推進し、地域周産期母子医療センター及び婦人科診療の再開を支援すること。
- 2 二次救急医療体制の充実強化を図るため、施設整備に係る支援を引き続き行うこと。

以 上

提出市： 日立市

県への要望書

(件 名)

筑西幹線道路の整備促進について

(内 容)

本路線は、平成 17 年度に古河市柳橋地内の新 4 号国道から東山田地内までの 3.3km の区間において、茨城県の合併市町村幹線道路緊急整備支援事業の対象道路として指定を受けました。

平成 20 年度に入り、古河名崎工業団地（旧 NTT 名崎送信所跡地）開発に伴い、恩名地区までの 2.9km 区間の変更指定を受け、指定区間を 6.2km に延伸後、平成 21 年度から工事着手し、平成 24 年度末より供用を開始しております。

筑西幹線道路は、北関東自動車道桜川筑西 IC と古河市を直結する広域的な幹線道路であり、県央地域との交流を促進するとともに、古河市の発展と市民生活の向上を図るための重要な路線であります。このため予算確保及び早期整備を要望いたします。

提出市： 古 河 市

県への要望書

(件 名)

国道 125 号整備（下妻・八千代バイパス）の早期実現に
ついて

(内 容)

国道 125 号は、筑波研究学園都市と県西地域を結ぶ広域幹線道路として、地域の交流や連携を図るうえで重要な役割を担っておりますが、その一方で、交通量が多く、未整備の箇所も多くみられることから、交通渋滞等の課題を抱えております。

中でも、下妻市内の長塚三差路交差点以西においては、交通量の増加や幅員狭隘が原因となって交通渋滞が慢性化しており、バイパスによる早急な解消が地域経済の振興や活性化を図るうえでも喫緊の課題となっております。

このようなことから、国道 125 号整備（下妻・八千代バイパス）の早期実現を要望いたします。

提出市： 下妻市

県への要望書

(件 名)

常陸太田市内における国・県道の整備促進について

(内 容)

国道349号は、水戸市を起点に福島県の阿武隈山系を縦断しながら宮城県柴田町に至る実延長260km、沿線3県・18市町村に及ぶ路線であるが、阿武隈山系を縦断するという経路から、その多くが山間部を通過しており未だ各所に幅員が狭隘で、かつ、屈曲の甚だしい箇所がある。

また、沿線市町村の中心市街地等を通る路線でも、歩道等交通安全施設の整備が遅れているため、近年の通行量の増加、特に大型車両の増加によって歩行者の安全が脅かされているなど、地域住民より一日も早い改良整備が強く求められている。

さらに、未曾有の被害をもたらした東日本大震災では、道路は支援物資の運搬や緊急車両の通行など「命をつなぐ道」として、その重要性が再認識されたところであり、特に国道349号は、高速道路等幹線道路の機能が失われた際にその機能を補完できる道路として、その整備が改めて重要視されている。

よって、その他の道路を含め、地域の発展と安全・安心を確立するため、真に必要とされている道路整備等を安定的かつ計画的に実施できるよう、下記事項の整備促進について、特段の御配慮をいただくよう要望する。

記

- 1 一般国道349号（那珂市額田～常陸太田市瑞龍町）の整備促進
- 2 一般国道461号（水府～里美）の整備促進
- 3 一般国道293号（常陸太田東バイパス）の整備促進
- 4 主要地方道日立笠間線（日立市～常陸太田市）の整備促進
- 5 主要地方道常陸那珂港山方線（下宮河内・下利員・箕町）の整備促進

以上

提出市：常陸太田市

県への要望書

(件 名)

茨城県畜産試験場跡地の利活用及びアクセス道路の整備について

(内 容)

茨城県畜産試験場跡地につきましては、笠間市友部地区市街地に近接し、常磐自動車道友部スマートインターチェンジや北関東自動車道友部インターチェンジにアクセスしやすく、利便性の高い大規模公有地であります。このことから、笠間市総合計画を初め、各種計画において、今後のまちづくりの重要な用地として位置づけられており、これまでも、県と笠間市におきまして、その利活用について様々な検討がなされてきたところであります。また、当該用地の早期の利活用は、笠間市を初め、県央地域の活性化を図る上でも重要なものであります。

雨水排水施設については、県の新市町村づくり支援事業により、整備事業が進められているところであり、本格的な利活用の実現に向けて大きく前進したところでありますが、北関東自動車道友部インターチェンジからアクセス道路は、一部区間が狭隘のため、通行に支障をきたしております。今後も、地域住民の要望を踏まえるとともに、情報共有、協議を行いながら、本事業を推進していただきたいと考えております。

つきましては、下記事項について、特段の御配慮をお願い申し上げます。

記

- 1 早期利活用に向け、企業誘致等の活動を積極的に進めること。
- 2 北関東自動車道友部インターチェンジからアクセス道路である一般県道平友部停車場線の早期整備を図ること。

提出市： 笠間市

県への要望書

(件 名)

主要地方道結城坂東線バイパスの整備促進について

(内 容)

首都圏中央連絡自動車道インターチェンジへのアクセス道路となる主要地方道結城坂東線バイパス（L=4.3km，W=16m）は，平成7年3月23日に都市計画決定された当市の根幹的な発展基盤となる重要な路線です。

早期整備を図るため，合併特例債を活用し市整備分の1.5kmについては平成27年3月31日に供用開始となりましたが，県整備分については事業化の見通しが不透明な状況です。

圏央道は全線開通に向け整備が進んでいる状況であり，これに向けて坂東インター工業団地の整備を進めている状況です。当路線はインターチェンジへのアクセス道路となり，重要な路線となるため早期の全線整備を要望いたします。

提出市： 坂東市

県への要望書

(件 名)

利根かもめ大橋有料道路の通行料金無料化について

(内 容)

利根川を挟み神栖市と千葉県銚子市・東庄町は、古来より、産業・防災・医療等について地域交流が盛んであります。当地域の日常生活は、通勤・通学・流通・公共交通等あらゆる面で自動車に依存しており、車の保有台数も増加の一途にあります。このような中、現在この地域間には、銚子大橋、利根かもめ大橋、利根河口堰の3つの橋が架けられておりますが、通勤・通学等の往来車両は年々増加し、1日約42,000台に達していると推定されます。

しかしながら、利根かもめ大橋が有料のため、無料の銚子大橋、利根河口堰に車が集中し、朝・夕の時間帯は慢性的な交通渋滞が続いている状態であり、多くの地域住民が苦慮しております。

つきましては、銚子大橋、利根河口堰の渋滞緩和及び更なる利根下流地域経済の振興・発展のため、利根かもめ大橋の通行料金の無料化について、特段の配慮を賜りたく要望いたします。

提出市：神 栖 市